

# PRESS RELEASE

2006年12月6日  
株式会社インターネットイニシアティブ  
日本 BEA システムズ株式会社

## IIJと日本BEA、「RFID2.0」実現のための標準プラットフォームを提供

-- IIJのEPC Networkサービスと日本BEAのRFID製品群を連携したシステム環境を整備し、  
RFID標準プラットフォームの普及・推進のために協力 --

株式会社インターネットイニシアティブ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証マザーズ、以下、IIJ)と日本BEAシステムズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:廣川 裕司、以下、日本BEA)は、RFID分野で協力し、EPCglobal<sup>(※1)</sup>に準拠した両社のネットワーク技術とミドルウェア製品を連携させたシステム環境を整備し、RFID2.0<sup>(※2)</sup>に対応したプラットフォームとして提供開始いたします。

今回の具体的な協力内容は、以下の通りです。

### 1. IIJ EPC NetworkとBEA WebLogic® RFID製品を連携させたRFID2.0 実用環境の構築

IIJ の「IIJ EPC Network サービス」と、日本 BEA の「BEA WebLogic RFID Edge Server/WebLogic RFID Enterprise Server」の相互接続性を検証し、両プロダクトを連携させたシステム環境を構築しました。これにより、ネットワークを介して、企業内あるいは企業間の業務システム全体に RFID を組み込み、活用する「RFID2.0」を実現できる環境が整いました。

### 2. HP RFID Noisyラボ・ジャパンにおけるデモ環境の共同提供

RFIDの検証施設等に 2 社のプロダクトを導入したデモ環境を構築し、お客様がEPCglobal Network を利用したRFIDシステムを実際に体験、検証できる場を提供します。今回、その第一弾として、「HP RFID Noisyラボ・ジャパン<sup>(※3)</sup>」にデモシステムを提供予定です。

### 3. EPCglobal Networkを活用したRFIDプラットフォームの普及に向けた共同推進

今後は、このパイロットシステムをベースに、オープンな標準プラットフォームとして各社の RFID 製品との連携を広げ、RFID2.0 システムを構築する SI 事業者への普及を促進していきます。また、企業ユーザに対しても、高度なネットワーク技術をもつ IIJ と、企業システムの SOA(サービス指向アーキテクチャ)導入で高い実績をもつ日本 BEA が、それぞれの強みとEPCglobal 対応における 2 社のノウハウを活かし、EPCglobal Network を活用した高次元な RFID ソリューションを提案していきます。

今後、この 2 社のプロダクトによる共通の RFID プラットフォームの提供を通じて、RFID システムと既存の企業システムを連携させた IT 基盤の構築、実用化を推進していく予定です。

#### <今回の協力の背景>

現在、国内でも製造・物流の現場を中心に RFID の利活用が急速に進みつつあります。さらに今後は、部門や事業単位レベルでの導入から、企業全体あるいは企業間でのグローバルな RFID の活用へと市場が広がっていくと予想されます。その際、国や地域をまたがる拠点や企業間でのリアルタイムな情報共有を実現するためには、オープンなネットワークの活用と国際標準規格への対応が不可欠です。

IIJ の EPC Network サービスおよび日本 BEA の WebLogic RFID 製品は、どちらもオープンなプラットフォームとして活用でき、また、EPCglobal国際標準への対応において世界的にも最先端の機能を提供しています。

- (※1) EPCglobal: 世界最大の RFID 国際標準化団体。ネットワークを介した RFID の国際標準規格である「EPCglobal Network」を管理・運営し、特に流通分野(製造・物流・販売)において同規格に準拠した RFID 関連技術の普及活動を行っています。(http://www.epcglobalinc.org/)
- (※2) RFID2.0: NTT データ、日本ヒューレット・パッカート(日本 HP)、日本 BEA 等が提唱している RFID 利活用モデルの呼称。企業が IT システムに RFID を組み込み、利用するための新たなアーキテクチャを策定し、SOA に基づく RFID 利活用システムの共通基盤づくりを提案しています。  
(ご参考: http://h50146.www5.hp.com/info/newsroom/pr/fy2006/fy06-161.html)
- (※3) HP RFID Noisy ラボ・ジャパン: 日本 HP、トーヨーカネツソリューションズ株式会社、アイデックコントロールズ株式会社、株式会社 WLソリューションズの 4 社が運営する RFID 共同検証施設。IIJ は、日本 HP と連携し、すでに施設内に EPC Network の環境を提供しています。

なお、今回の 2 社の協力について、日本ヒューレット・パッカート株式会社より以下のエンドースメントをいただいております。

#### ■日本ヒューレット・パッカート株式会社からのエンドースメント

日本HPは、IIJとBEAの日本国内における両社プロダクトの相互接続検証の成功を歓迎します。今回の検証の成果が、製造・物流・販売の分野において、日本やアジアの国々をまたがり、複数の企業間を結ぶ物と情報のトラック&トレースの基盤の構築推進の礎となることを期待します。

日本HPは先般、現場から企業間まで含めたRFID利活用の構想をRFID 2.0として発表しましたが、今回の結果がRFID2.0をさらに実現に近づけ、さらには企業の業務改革に大きく貢献するものと信じています。

日本 HP は、今後両社との協業を軸に、より具体的なデモ環境、検証環境としての HP RFID Noisy ラボ・ジャパンに今回の成果を取り入れ、来場者に RFID 2.0 の具体例を提示していきたいと考えています。

日本ヒューレット・パッカート株式会社 セグメントマーケティング本部  
ソリューション担当部長兼 RFID ビジネスリーダー  
三宅信一郎様

#### ■IIJ について

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、Nasdaq:IIJI) は、1992 年、インターネット接続を商用サービスとして提供するパイオニアとして設立されました。現在では主にハイエンド顧客を対象に、インターネット接続、セキュリティ、メールシステム、インターネット・データセンター、システムインテグレーション、運用管理などの各種ネットワークサービスをトータル・ネットワーク・ソリューションとして提供しています。IIJ の情報については、<http://www.ij.ad.jp/> をご覧ください。

#### ■日本 BEA システムズについて

日本 BEA システムズは、BEA Systems, Inc. (本社: 米国カリフォルニア州、Nasdaq シンボル: BEAS) の日本法人です。BEA は、エンタープライズ・インフラストラクチャ・ソフトウェアの世界的なリーダーです。BEA の SOA 360°プラットフォームは、コスト構造の改善と新たな収益源の拡大を目的とした、ビジネスの変革と最適化のための業界で最も統合された SOA プラットフォームです。BEA がどのように顧客企業における Business LiquidITy™の実現を可能にしているかについては<http://www.beasys.co.jp>をご覧ください。

<お問い合わせ先>

株式会社インターネットイニシアティブ:

広報室 川上、手島

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp) URL: <http://www.ij.ad.jp/>

日本 BEA システムズ株式会社：

広報担当 八田

TEL： 03-5545-8400 Email： [pr.jp@bea.com](mailto:pr.jp@bea.com)

URL： <http://www.beasys.co.jp/>

※ 文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

※ 本プレスリリースは、一般的な報道のための参考資料として提供させて頂いています。投資判断のための第一義的な資料になるものでも、投資家の特定の目的にそった助言を提供するためのものでもないことをご了承ください。なお、情報の正確性につきましてはできる限り確認をしておりますが、内容の変更がある場合もございます。